

予約採用とは



- 令和8年度に三重大学大学院へ進学予定の方を対象とした申込です。(申請時点で合格の結果が出ていない場合でも申請は可能です。)
- 修士・博士前期課程入学者対象の「返還免除内定制度」への申請希望者は、今回の予約採用に必ず申し込んでください(この用紙の2ページ目参照)。
- 予約採用に申込ができない方は、令和8年4月に実施する「在学定期採用」の募集時に申込をしてください。予約採用と在学定期採用では、初回振込月が異なりますが、令和8年4月分からの貸与を受けることができる点では変わりはありません。

日本学生支援機構(JASSO)奨学金について

大学院で利用できる JASSO 奨学金は貸与奨学金のみで給付型の奨学金はありません。

第一種奨学金(利子なし)と第二種奨学金(利子あり)では、家計基準や学力基準が異なります。採用後に月額の変更や辞退をすることができます。

授業料後払い制度は、修士段階のみを対象とした貸与奨学金です。

奨学金申請をする方は、掲載資料をよく読み、手続きに関する学生支援チームからのメール等を見落とさないように気をつけてください。

申請手順

以下の1. ～6. を順番に進めてください。

<申請期限>

【奨学金希望者全員】10月10日(金)までに事前申請フォーム入力をしてください。

また、「奨学金確認書兼地方税同意書のセット」を受け取ってください。

1. 申込に必要な書類を入手する

10月10日(金)まで

- (1) 学生支援チーム窓口(総合研究棟Ⅱ 1階 1番窓口)に置いてある「奨学金確認書兼地方税同意書のセット」(紫色の封筒)を各自持ち帰る。

窓口へ受け取りに来ることができない方は、郵送で請求してください。郵送での請求方法は三重大学奨学金 HP を確認してください。

学生支援チーム窓口:平日 9 時～17 時

- (2) 三重大学奨学金 HP に掲載している各資料(奨学金案内、下書き用紙記入例など)をダウンロードして確認する。

2. 事前申請フォームへ入力する

入力期限:10月10日(金)

事前申請フォーム(Microsoft365「Forms」による申請)

<https://forms.office.com/r/DqQdKxmudU>



10月10日までに事前申請フォームを入力していない人は、今回の予約採用の申請はできません。フォームを送信すると、スカラネットに入力するための「識別番号」が記載されたメールが届きます。

3. 「スカラネット入力下書き用紙」を記入する

奨学金 HP に掲載している「スカラネット入力下書き用紙記入ガイド」を確認して記入してください。

★三重大学生在学生のみ★

下書き用紙の記入方法や奨学金制度がわからない場合は、

「三重大学 JASSO 奨学金申請 FAQ(チャットボット)」も活用してください。

「学籍番号@m.mie-u.ac.jp」、PW は「統一アカウントのパスワード」でログイン

※AI は質問の仕方によって誤った回答を返すこともありますので、回答内容に疑義がある場合は、奨学金案内などの資料を確認してください。



4. 記入した下書き用紙を見ながら、スカラネットへ入力する。

入力期限:10月14日(火)

「奨学金申込」→「個人番号(マイナンバー)の提出等」の両方を入力する。

入力内容は必ず確認し、誤入力があれば大学へ連絡すること。データ送信後、学生は修正することができません。

5. 「奨学金確認書兼地方税同意書」を作成し日本学生支援機構へ郵送する

スカラネット入力後 1 週間以内

- ・同封されている「奨学金確認書兼地方税同意書の提出方法」をよく読み作成・郵送すること。
- ・三重大大学の学生証は生年月日が記載されていないため、本人身元確認書類として使用できません。
- ・同意書の申込者本人欄は、以下の表を参照して課程・研究科名を記入すること。

(「同意書」への書き方)

(進学先の研究科)			「課程」欄	「研究科」欄
教育学研究科(教職大学院)	P	→	専門職学位	教育学
医学系研究科 (医学)	M	→	修士	医学系
	D	→	博士	医学系
医学系研究科 (看護)	M	→	博士前期	医学系
	D	→	博士後期	医学系
工学研究科	M	→	博士前期	工学
	D	→	博士後期	工学
生物資源学研究科	M	→	博士前期	生物資源学
	D	→	博士後期	生物資源学
地域イノベーション学研究科	M	→	博士前期	地域イノベーション学
	D	→	博士後期	地域イノベーション学

6. (該当者のみ) 学生支援チームへ必要書類を提出する

提出期限:10月14日(火)

以下の方は学生支援チームへ必要書類を期日までに提出してください。

該当者	必要書類
外国籍の方	在留カード、特別永住者証明書いずれかのコピー(表・裏とも) ※在留資格が「家族滞在」の方は、上記に加え「出入国記録の写し」(原本)も必要。
他大学(院)から進学する方	出身大学(院)の学業成績証明書 (高等専門学校<専攻科>から進学する者は専攻科分と高等専門学校分が必要)
進学前離職を証明する書類	「貸与奨学金案内(大学院予約)」p.30 を確認し、「進学前離職の特例措置」の適用を希望する者のみ、以下①～⑤いずれかを提出。 ① 会社発行の離職(退職)証明書 ② 雇用保険被保険者離職票(写し) ③ 雇用保険受給資格者証(写し) ④ 退職(離職)日の記載がある源泉徴収票(写し) ⑤ 休職日の記載がある休職証明書(無給であることがわかるもの)
マイナンバーを提出しない場合	「マイナンバーに代わる提出書類」及びその必要書類

申請のための手続きは上記1～6までですが、申請内容等について大学から照会することがあるため、大学からの連絡(メール、電話)の見落としがないようにしてください。連絡がとれずに不備が解消されないと、不採用となる場合があります。

第一種奨学金返還免除制度について

【業績免除】

貸与が終了する年度に申請し、機構に「特に優れた業績を挙げた」と認定されると、大学院における貸与額の全額または半額の返還が免除される制度です。('業績'とは論文や学会発表等ですが、研究科ごとに評価項目が異なります。)大学から機構へ推薦できる人数には限りがあります。

【教員免除】

特に優れた業績を挙げたと認められ、かつ教職大学院を修了のうえで教員採用選考試験に合格し、正規教員として採用となった場合、全額免除となります。返還免除認定される人数に上限はありません。

「修士・博士前期課程に入学する学生を対象とした返還免除内定制度」への申請を希望している方は必ず今回の予約採用で申込をしてください。ただし、修士内定制度は申請対象者が限定されていますので、制度の詳細はJASSOや大学のホームページで確認してください。

「博士後期課程・医学博士課程における採用時返還免除内定制度」は、入学年度にのみ申請できます。

奨学金申込に関する注意事項

●保証人の年齢について

65歳以上は不可！

※ただし、貸与予定総額の返還を確実に保証できる資産を有すると認められた場合に限り可。

保証できる資産とは…次の①～③のいずれか

- ①給与所得者は年間収入金額320万円以上(給与所得者以外は年間所得220万円以上)
- ②預貯金残高証明額 ≥ 貸与予定総額
- ③固定資産評価証明額 ≥ 貸与予定総額

◆65歳未満の適任者もおられず、上記の①～③のいずれかの証明を提出のうえ保証人を引き受けていただける65歳以上の人もいない方は、機関保証制度での申込みとなります。

●マイナンバー(個人番号)の提出について

各奨学金の家計基準等に該当するかどうかは、日本学生支援機構がマイナンバーにより住民税情報を取得することで判定します。そのため、学生本人及び配偶者のマイナンバーをスカラネットで入力します。マイナンバーカードを持っておらずマイナンバーがわからない場合は、マイナンバーが記載されている住民票を取得するなどの対応をお願いします。

選考結果の確認について

- ・ スカラネットのメインメニューで選考状況を確認することができます。不備がなければ12月下旬に選考結果が判明します。ただしJASSOでの選考状況によっては令和8年1月以降に結果が判明する場合もあります。
- ・ 令和8年1月中旬頃に、大学から選考結果通知の配付方法について学生メールで連絡するため、見落としがないようにしてください。
- ・ 採用候補者に決定した方へは「採用候補者決定通知」を配付します。大学院進学後に必要な書類であるためなくさないように保管しておいてください。

大学院進学後の手続き

- ・ 予約採用で採用候補者となった方は、大学院進学後(4月)に、インターネットで「進学届」を提出(入力)します。
- ・ 進学届の提出により正式に奨学生として採用され、その後大学から「奨学生証」「返還誓約書」の配付を行います。指定された期日までに「返還誓約書」を提出しないと採用が取り消されます。
- ・ 奨学金の初回振込日は進学届の提出時期により異なるため、大学からの案内を確認してください。(令和8年4月に案内予定)

書類提出・問合せ先

総合研究棟Ⅱ 1階 1番窓口 学務部学生支援チーム(平日 9 時～17 時)
メールアドレス:menjyosyogaku@ab.mie-u.ac.jp

- ☆ 質問・疑問点がある場合、HP に掲載している各資料を確認してください。
- ☆ それでもわからないことがある場合は、学生支援チームに問い合わせてください。